



1枚に切り取る医療界の2週間

Medical management support by astellas

2019年10月28日号

11月は「みんなで医療を考える月間」～上手な医療のかかり方を国民に普及

《背景》厚生労働省は、「上手な医療のかかり方を広めるための懇談会」が昨年末に公表した国民プロジェクト宣言を受け、その趣旨などを国民に普及させるため毎年11月を「みんなで医療を考える月間」と定め、集中的なキャンペーンを行うこととした。同懇談会は、医療を取り巻く社会経済状況から日本の医療は危機的な状況にあることを踏まえて議論を重ね、その結果を宣言として取りまとめていた。

《解説》懇談会の宣言は、「いのちをまもり、医療をまもる」国民プロジェクトです。国、地方自治体、医療提供者、民間企業、市民などに、それぞれの立場で思考・行動することを呼びかけるとともに、①患者・家族の不安を解消する取り組みを最優先で実施、②医療の現場が危機である現状を国民が広く共有する、③緊急時の相談電話やサイトの導入・周知・活用、④信頼できる医療情報を見やすくまとめて提供、⑤チーム医療を徹底し、患者・家族の相談体制を確立—の5つの方策を挙げました。また、「それぞれが少しずつ、今すぐできることから」として、これからのアクションの例も示しています。

「いのちをまもり、医療をまもる」ための国民総力戦！～それぞれが少しずつ、今すぐできることから～

市民のアクション

行政のアクション

民間企業のアクション

例

医師/医療提供者のアクション

- ☑ あらゆる機会に医療のかかり方を啓発する(待合室、母子健診、小児健診、成人健診、高齢者健診、学校健診、職域健診、公開講座)
- ☑ 電話相談や「医療情報サイト」などの最新情報をチェックして質を保つ
- ☑ 「かかりつけ医」として必要な能力を維持・向上し、かかりつけ医の所在・役割を市民に分かりやすく伝えるように努める
- ☑ タスクシフト・タスクシェア(業務の移管・共同化)を推進する
- ☑ どの医療従事者に相談したらよいかをサポートする患者・家族支援体制を整える
- ☑ 管理者は働き方改革に真摯に取り組み、地域医療の継続にも貢献する
- ☑ 医療従事者も患者の安全のため、健康管理に努め、きちんと休暇をとる

【「いのちをまもり、医療をまもる」国民プロジェクト宣言!】に係る資料から抜粋

《発行》

アステラス製薬株式会社

東京都中央区日本橋本町2-5-1 〒103-8411

《内容についてのお問い合わせ先》

医療総研株式会社 (担当: 田中 勝志)

東京都文京区後楽2-3-4第二松屋ビル 〒112-0004
TEL. 03-3817-8867